

第7回 福岡県地域エネルギー政策研究会 日下座長 総括コメント

- 本日、第7回福岡県地域エネルギー政策研究会を開催し、「石炭や天然ガスによる高効率発電の普及に向けた地方の役割と具体的な取組み」について研究を行いました。
- 冒頭、私の方から、前回の研究会で議論を行った「第1回中間報告書」を12月3日に県に提出したことを報告させていただきました。
また、今回の研究会では、「石炭や天然ガスによる高効率火力発電の普及に向けた地方の役割と具体的な取組み」について委員間で議論を深め、県に対する報告・提言に繋げていきたい旨の挨拶をさせていただきました。
- 次に、電力中央研究所の丸山真弘上席研究員から、「電力システム改革と発電事業の最新動向」について御講演をいただきました。
丸山上席研究員からは、欧米の事例も交えながら、電力小売りの全面自由化や発送電分離が行われた場合のメリット・デメリット、さらには電力需給の安定確保に向けた課題などについて詳細に御紹介いただきました。
- 次に、中静靖直委員（電源開発（株））から、「石炭火力の役割について ～クリーンコールテクノロジー～」について情報提供いただきました。
中静委員からは、我が国の石炭火力発電は、世界最高水準の発電効率・環境性能であり、産業を支える安定、低廉な電力供給として不可欠であること。我が国のクリーンコール技術は、世界の二酸化炭素削減に貢献できる上、同時に我が国のビジネスチャンスであることなどを報告いただきました。
- 次に、大庭繁樹委員代理（北九州市）から、「北九州市地域エネルギー拠点化推進事業」について情報提供いただきました。
大庭委員代理からは、低炭素で安定・安価なエネルギー供給を目指して取り組みが進められている、①北九州市響灘地区における火力発電・洋上風力発電の立地検討状況に加え、②発電事業者と市内産業界を繋ぐ「地域エネルギー会社」の設立検討状況について報告をいただきました。
- 最後に、これらの講演・情報提供などを基に、「新たなエネルギー基本計画」や「電力システム改革」の動向も踏まえ、エネルギーの効率的利用の促進や、安定・安価で環境に優しいエネルギー供給の確保のため、高効率発電の普及をどのように進めるべきか、委員間で討議を行いました。
各委員の積極的な意見・助言により、「石炭や天然ガスによる高効率発電の普及」に係る検討課題等もある程度整理できたものと考えております。
- 次回の研究会では、「需要サイド、特に産業部門・業務部門におけるエネルギーの効率的利用の促進に向けた地方の役割と具体的な取組み」について議論を行うこととしております。
研究会においては、国の動向等も踏まえながら更に研究を進め、福岡県の将来を大胆に見据えた意見・提言等を行ってまいりたいと考えております。